

発言通告一覧表

議案番号	通告者名	通告の種類	通告の要旨
議案第1号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 議会に来て意見を伺い、議論する場をつくってほしい。 2. 教育に対するの現状意識と課題、方針について。 3. 蔵野博司さんを最適任とした内容。 4. 何を求めているのか。 5. 市民の立場に立った反映は経歴から如何か(ずっと教育に携わって来たことから)
議案第2号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育に対するの現状意識と課題、方針・議会への出席について。 2. 片木哲男さんを最適任とした内容。 3. 何を求めているのか。 4. 経歴から1980年からはいつまでも先生をされておられたのか。
議案第3号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設定に当たっての手続き、受け入れ基準、その確認方法。 2. 認定時期の長短の理由(市場青年会場北住宅内線・新家駅東・西住宅内線・府営泉南岡田住宅南線)
議案第4号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 条例制定の役割を担う議会への条例変更が必要とする執行機関としての議会への対応についてはこういう形(すべてを行政でつくること)でいいのか、つまり成案として示すという事でいいのかどうか。 2. その上で障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の措置とは何か。 3. 何が具体的に変わってどのような市民にとっての影響があるのか。 4. 付則の内容について
議案第5号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 退職金を返納させることが出来る内容についてであるが、今なぜこの提案か。 2. 改正の具体の中味。 3. 退職金とは何か。 4. 一旦払ったものを返納させれるのか。 5. その場合生活費との関係でどこまで有効性があるのか。 6. 公務員の積極な行動にマイナスとはならないか。 7. やれば問題も付いて回る、やらないほどそのリスクはない。そんな消極的な組織にならないか。絶対的な悪も善もない中で、明文法[これだって不十分・矛盾をはらんでいる]においてそれに抵触したときに働いた対価であるモノを返納させるという事は果たして憲法上、道理から言って良いのもかどうか。
議案第8号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活から言って値上げは妥当か。
議案第9号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活状況をどのように考慮したか。
議案第10号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活状況をどのように考慮したか。
議案第11号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活状況をどのように考慮したか。
議案第12号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活状況をどのように考慮したか。
議案第13号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活状況をどのように考慮したか。
議案第14号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活状況をどのように考慮したか。
議案第17号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活状況をどのように考慮したか。
議案第18号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民生活状況をどのように考慮したか。
議案第19号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 補助金目的にどのように整合しているのか。 2. P108の雑入の内容。 3. P109の訴訟の内容。 4. P111の老人集会場の修繕費・備品の内容。 5. 保育整備500万円の内容。 6. 火葬場施設管理運営事業の需用費2700千円の内容。 7. P112の負担金 22,582千円の内容。 8. P113の補助金90万円の内容。 9. P118の基金392,002千円の内容。
議案第20号	小山広明	質疑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老人保健特別会計廃止する件。 2. 余剰金の使途とその意味合いは。 3. 当該会計の総括と今後の老人医療のあるべき姿は。 4. 新しい制度の内容は。

